

箴言 1

2017/07/26 聖書研究会

שלמה משלי 1:1

shlme

mshli

ソロモンの箴言

Solomon proverbs-of

ミシュレー・シェローモー

1. タイトルの「ミシュレー」は「格言」「ことわざ」「言葉」などの幅広い意味を持つ語。
日本語の「箴言」は警句の意味合い。ちくつと針で刺すような言葉。

韓国の聖書も **잔언** (箴言)。

チャモン

2. 「箴言」は「ヨブ記」「コヘレトの言葉」、続編の「シラ書」「知恵の書」などとともに「知恵文学」に属する。知恵に優れた人と伝えられるソロモン王の名を用いている。しかし内容的に古い起源のものも含まれるが、最終的な編集は紀元前 300～250 年ころと言われる。

3. 「知恵」とは、人間がさまざまな問題や困難に直面しながら課題を巧みに解決、処理し、時と場合に応じて適切に行動する力を指す。

この世界の中で賢く生きていくために必要な実践知。

しかし単なる処世術ではなく、信仰的な生き方を全体として目標として重視している。

特に 1:7 「主を畏れることは知恵の初め。無知な者は知恵をも諭しをも侮る。」

4. 箴言の書かれた目的 2～6 節。

「1:3 諭しを受け入れて／正義と裁きと公平に目覚めるため。」

直訳「成果ある規律を体得させるためのもの、正直と公正と誠実さとを」(勝村弘也氏)

5. 中心的メッセージ

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。無知な者は知恵をも諭しをも侮る。」

「初め」と訳されているが、「源泉」「前提」の意味を持つ。

主を畏れることから正しい認識と実践が与えられる。